

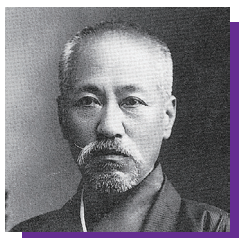
福崎町が育んだ5人の俊英 ～松岡五兄弟～

柳田國男は明治8年（1875）に飾磨県神東郡辻川村（現兵庫県神崎郡福崎町西田原）で、代々医者の家系であった松岡家の6男として誕生しました。

両親は國男を含む8人の子宝に恵まれ、そのうち3人は早世したものの、成長した5人の兄弟はそれぞれの道で才能を開花させました。



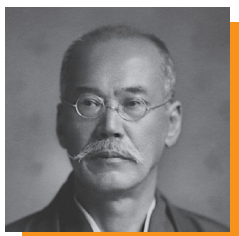
県指定文化財 柳田國男生家



まつおか かなえ

■松岡 鼎■ 万延元年（1860）～昭和9年（1934）

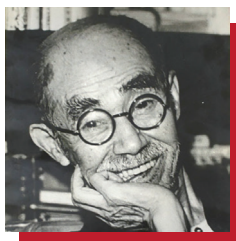
長男。20歳で神東神西二郡小学校校長兼巡校視を勤めた後、医者となりました。現千葉県我孫子市布佐に凌雲堂医院を開業し、長男として一家を支えました。布佐町長など地方政治家としても活躍しました。



いのうえ みちやす

■井上 通泰■ 慶応2年（1866）～昭和16年（1941）

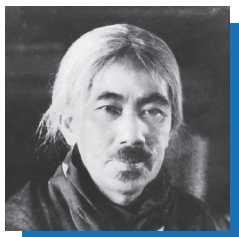
三男。12歳で井上家の養子になり、眼科医として活躍。森鷗外らと知己となり、新声社に参加。訳詩集『於母影』を発表。山縣有朋らと交流し、御歌所寄人や宮中顧問官を務めるなど、歌人、国文学者としても活躍しました。



やなぎた くにお

■柳田 國男■ 明治8年（1875）～昭和37年（1962）

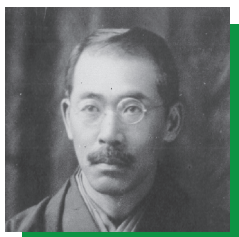
六男。27歳で柳田家の養子となりました。農商務省、法制局参事官を経て貴族院書記官長となりました。日本民俗学の創始者として、全国の日常生活文化の歴史を記録し、『遠野物語』や『妖怪談義』など生涯で数多くの著作を記しました。文化勲章、正三位勲一等旭日大綬章、福崎町名誉町民第一号。



まつおか しずお

■松岡 静雄■ 明治11年（1878）～昭和11年（1936）

七男。海軍軍人として日露戦争。第一次世界大戦に従軍しました。高い語学力を活かし、オーストリア大使館付き武官等で活躍。大佐で退官した後は、言語・民族・歴史・国文学など幅広い分野の研究に業績を残しました。



まつおか てるお

えいきゅう

■松岡 輝夫（映丘）■ 明治14年（1881）～昭和13年（1938）

八男。日本画家。大和絵の復興に尽力するとともに、東京美術学校教授を務め、橋本明治・高山辰雄・杉山寧など次世代を担う優れた日本画家を育てました。実証による歴史研究に基づいた作品を志向し、代表作に《平治の重盛》などがあります。



もっと詳しく

福崎町立柳田國男・松岡家記念館

柳田國男とその生家である松岡家を顕彰する記念館。館内では五兄弟の業績を展示しています。

入館無料

開館時間：9：00～16：30（入館受付は16時まで）

定休日：月曜（祝日の場合は開館）、

祝日の翌日（土・日の場合は開館）、年末年始

住 所：神崎郡福崎町西田原 1038-12

電 話：0790-22-1000



福崎町制70周年記念 井上通泰生誕160年記念
日本民俗学の父・柳田國男生誕の地 兵庫県福崎町

第47回山桃忌



【岩田健三郎・画 「國男さんの仕事机」】

主催 福崎町

後援 兵庫県、日本民俗学会、日本民話の会、女性民俗学研究会

さん どう き

山桃忌とは

柳田國男とその兄、井上通泰の祥月にあたる8月に、二人の偉業を偲んで「山桃忌」を開催しています。「山桃忌」の名前は、故郷を詠んだ二人の歌に幼いころに遊んだ山桃の木が出てくることに由来しています。

開催日程

■開催日：令和8年8月2日（日） 10：30～16：30

■会 場：福崎町エルデホール

第1部 播磨の民俗芸能披露

■時 間：10：30～12：00

1. 解説 日本の獅子舞 柳田國男・松岡家記念館顧問 東京学芸大学名誉教授 石井 正己

2. 播磨の獅子舞

犬飼獅子舞（姫路市） 犬飼獅子舞保存会

甘地の獅子舞（市川町） 甘地獅子舞保存会

第2部 柳田國男の可能性

■時 間：13：10～16：30

* * * * * 山桃忌式典 * * * * *

1. 黙祷

2. 献花

* * * * * 講 演 * * * * *

1. 主催者あいさつ

2. 来賓あいさつ

3. 基調講演 「柳田國男と現代 ～熊はいかに語られたか～」

柳田國男・松岡家記念館顧問 東京学芸大学名誉教授 石井 正己

4. 記念講演 「A I 柳田國男」

小説家 高橋 源一郎

（ 休 憩 ）

* * * * * 山桃忌記念対談 * * * * *

山桃忌記念対談「柳田國男の可能性」 高橋 源一郎 × 石井 正己

■播磨の獅子舞

いぬ かい し し まい ほ ぞん かい
犬飼獅子舞保存会

犬飼の獅子舞は、少なくとも慶安元年（1645）には行われていたと言われています。氏神の神明神社本殿前では「歌舞」「剣ノ舞」「四方舞」の3種の舞（三役）を必ず舞うことになっており、いつの世から伝説「人身御供」を偲ぶ神明神社奉納獅子舞として、親から子へ代々伝え舞い続けられています。戦時中に青年層の多くが犠牲となり、伝承が一部欠けたことから、現在は13種類が伝承されています。昭和50年に犬飼獅子舞保存会が結成され伝承を図っています。（兵庫県指定重要無形民俗文化財）

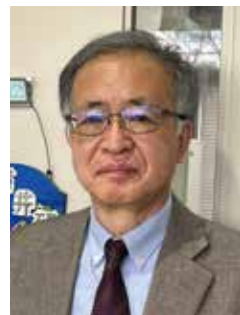


あま じ し し まい ほ ぞん かい
甘地獅子舞保存会

甘地の獅子舞の起源は430年以上前より伝えられたとされています。甘地の獅子舞は本獅子（雌獅子）で、頭の作りもやや小さく女性的です。曲目は全部で12曲あり〈鈴の舞〉〈剣の舞〉は1人立舞で、その他はすべて2人舞です。いずれの曲も1匹の獅子に着飾った子供たち（囃子児）が絡みます。昭和55年に保存会が結成され、伝統芸能を守るとともに積極的な公演活動を行っています。（兵庫県指定重要無形民俗文化財）



■基調講演「柳田國男と現代 ～熊はいかに語られたか～」



柳田國男・松岡家記念館顧問 東京学芸大学名誉教授 いし い まさ み
石井 正己

1958年東京生まれ。東京学芸大学名誉教授。日本文学・口承文芸学専攻。2012年から柳田國男・松岡家記念館顧問。
主な編著書に『図説 遠野物語の世界』『感染症文学論序説』（河出書房新社）、『源氏物語 語りと絵巻の方法』『総括 柳田國男・口承文芸論』（三弥井書店）、『100分de名著ブックス 柳田国男 遠野物語』『文豪たちの書いた関東大震災』（NHK出版）、『菅江真澄 図絵の旅』『柳田国男自伝』（KADOKAWA）など多数。

■記念講演「A I 柳田國男」



小説家 たか はし げん いち ろう
高橋 源一郎

1951年、広島県尾道生まれ。小説家。1981年、小説『さようなら、ギャングたち』でデビュー。
1988年、『優雅で感傷的な日本野球』で第一回三島由紀夫賞、2001年、『日本文学盛衰史』で伊藤整文学賞、2012年、『さよならクリストファー・ロビン』で谷崎潤一郎賞。2005年から明治学院大学国際学部教授に就任。現在は同大学名誉教授。2012年4月からNHKラジオ第1「すっぴん！」金曜日・パーソナリティ、2020年4月から同NHKラジオ第1、金曜日「高橋源一郎の飛ぶ教室」パーソナリティ。現在、毎日新聞で毎週「人生相談」。「サンデー毎日」でほぼ毎週、コラム「これは、アレだな」。以上を連載している。
2025年末、『ぼくたちはどう老いるか』（朝日新書）、2026年4月『食べる本 読むダイエット』（河出新書）を刊行。